

# 一般国道157号

# 香林坊拡幅計画平面図



## 計画の意義

一般国道157号は、金沢市を起点として岐阜市に至る北陸地方と東海地方を結ぶ主要幹線道路としての機能と、白山麓地域と金沢都市圏を結ぶ地域内幹線道路機能を合わせ持つ重要な路線であります。このうち石川県内については、金沢市(下堤町)～鶴来町(白山町)間L=21.2kmが直轄管理区間となっています。

本国道の都市圏にあたる当地先においては、近年のモータリゼーションの進展や金沢市周辺の急激な人口増加に伴い、交通量は増加の一途をたどっています。このことから主要交差点での交通渋滞が発生し、特に朝夕の通勤ラッシュ時には混雑も著しくなっています。また、車道及び歩道幅員が狭いことから、交通事故や障害等も数多く発生しています。

香林坊拡幅は、このような問題に対処し、安全で円滑な道路交通を確保する他、金沢市の都心軸である下堤町(武蔵ヶ辻交差点)～片町間の都市景観の向上と快適な歩行者空間の創出を目的として両側に3mの歩道及び1mの植樹帯を整備し、都市計画幅員(W=22m)に合わせた拡幅を行いながら、電線類の地中化や緑化等の市街地整備を実施しているところとです。

## 事業の概要

- ①路線名 一般国道157号・香林坊拡幅
- ②起点・終点 金沢市下堤町～金沢市片町一丁目
- ③延長 L=1,600m
- ④幅員 W=22.0m(3.0+1.5+4@3.25+1.5+3.0)
- ⑤構造規格 第4種第1級 設計速度40km/h

## 事業の経緯

- 都市計画決定 昭和5年5月20日(◎森山・有松線)
  - 事業化 昭和62年度
  - 用地着手 昭和63年度
  - 工事着手 昭和62年度
  - 一部供用 昭和63年度
- 金沢市尾山町～金沢市片町一丁目 L=800m  
 平成13年度  
 金沢市下堤町～金沢市尾山町 L=720m

## C・C・Boxとは？

安全で円滑、快適な道路交通の確保や、明るく美しい景観の整備、電線類(光ファイバーや電力、通信線など)の地中化を必要とする道路の地下に2つ以上の電線管理者の電線類を共同に収容する施設をC・C・Boxといいます。これは平成7年6月に施行された「電線共同溝の整備等に関する特別措置法」に基づき道路管理者が整備します。

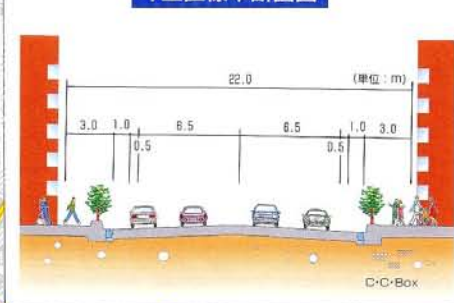
C・C・Boxの最初のCは  
**Community**(地域・共同)  
**Communication**(通信・伝達)  
**Compact**(コンパクト)、  
 2番目のCは  
**Cable**(ケーブル線)の頭文字です。

## 電線類の地中化はこんなに役立つんです!!

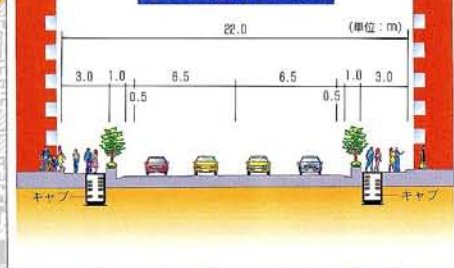
- 1 歩行者や自転車、車椅子の人たちに、快適で安全な歩道空間を生み出します。
- 2 火災時の消防、救命活動をスムーズにし、防災面の向上に役立ちます。
- 3 震災、台風、雪害時でも電力・通信を安定的に供給し、高度情報化社会へ貢献します。
- 4 電柱衝突事故が減少するとともに、見通しの良い道路空間を生み、交通事故の減少に貢献します。
- 5 道路工事の削減や効率的な除雪作業が可能となり、洗滞の緩和と円滑な市民生活を守ります。
- 6 良好な景観を創り、明るいまちづくりに役立ちます。



1工区標準断面図



2工区標準断面図



位置図



凡例	
<span style="color: red;">—</span>	香林坊拡幅
<span style="color: blue;">—</span>	一般国道
<span style="color: yellow;">—</span>	主要地方道
<span style="color: orange;">—</span>	一般県道
<span style="color: grey;">—</span>	都市計画道路

【この地図は、国土交通省国土地理院長の承認を得て、国院発行の2.5万分の1地形図を複製したものである。(著作権者) 国土院】